

職員による評価

放課後等デイサービス自己評価表

jump
(%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	改善目標、工夫している点など
			はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60	40	0		部屋数はあるが療育内容に適している・いないがあるのでその都度考えて療育を行っている
	2 職員の配置数は適切であるか	20	40	40		改善してほしい
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	100	0		保護者や子供からまだ配慮されていないといわれるのでその都度検討改善している
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20	60	0		ミーティング会議を利用して行っているがまだ不十分なのでしっかり行っていきたい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80	0	0		昨年度より評価表をとっているのでスタッフ間で共有し、活かすようにしている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	60	40		今年より公開
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	40	60		第三者を入れてはできていないので検討していきたい
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60	40	0		外部研修へ参加したりしているが、パートの職員に対してなかなか確保できていない
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80	20	0		各スタッフきちんとできている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	20	20		できている子とできないない子がいるので広げていきたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0		ミーティング、会議、空いた時間などでスタッフ間で話し合いながらできている。一人の考えにならないようにしている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0		ミーティング、会議、空いた時間などでスタッフ間で話し合いながらできている。一人の考えにならないようにしている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80	20	0		ミーティング、会議、空いた時間などでスタッフ間で話し合いながらできている。一人の考えにならないようにしている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0		ミーティング、会議、空いた時間などでスタッフ間で話し合いながらできている。一人の考えにならないようにしている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0		ミーティングの時間を設け必ず確認するようにしている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40	60	0		時間が合わずできていないことも多いので翌日にできるようにしたい
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40	40	20		できている人とできていない人がいるので部署全体で取り組んでフォローしていきたい	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0	年に一回モニタリングをおこない把握している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	20	40	0	できている部分とできていない部分があるので見直していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80	0	0	自発管または自発管よりその子供に関わっている担当者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100	0	0	お迎え時など担任の先生と話すようにし、情報共有がしっかりできている。必要であれば電話やメールも行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40	0	0	受け入れる前に確認、相談ともきちんと話す
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20	20	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40	60		昨年度からだが、打ち合わせや会議などに参加し、情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40	20		いちばん屋内ではできているが外部とはなかなかできないので検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		20	80	現在全くできていないので検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		40	40	参加できる機会があれば参加しているが少ない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80	20		フィードバック時、その日の療育だけでなくそれ以外のことも話すようにしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20		60	現在全くできていないので検討していきたい
	保護者への説明責任等	30	重要事項説明、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80		
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60		20	担当者が話を聞きスタッフ間で共有しながら対応を考えている
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40	40		年1回～2回程度、保護者会を開催
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	40		できている場合とできていない場合があるので確実にしていきたい。ミーティングでのスタッフ間の伝達はできている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	60	40		季節や行事などのときに合わせて出しているが少ないので増やしていきたい
	35	個人情報に十分注意しているか	100			全職員に共通の意識を持ってもらい管理をしている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			ペーパーを使ったり、言葉だけににならないように工夫している

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		60	40	地域のボランティアまつりに今年は参加し、啓発活動へつなげていくようにしている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60	20	20	一応整っているが周知できている部分もある。また、感染症がいつも問題になってしまう現状もある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80	20		職員は行っているが、子供を入れてやっていないので子供を入れてやっていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60	40		年1回の研修を受けている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40	40	20	昨年監査で指摘されたので今年度より記載し、説明して納得していただいている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40	40		指示書が必要な子は現在いないがいる場合は対応できるようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80	20		心がけているが、できていない場合もあるので必ずできるようにしていきたい。ミーティングでの報告はできている。